

柏市地域公共交通網形成計画の 短期施策の進捗状況について

令和3年8月18日

柏市交通政策課

1

柏市地域公共交通網形成計画について

柏市地域公共交通網形成計画(平成31年2月策定)

【計画の目的】

超高齢社会に対応した持続可能な都市を目指すため、まちづくりと連携した公共交通網の整備を進めるもの

【計画期間】

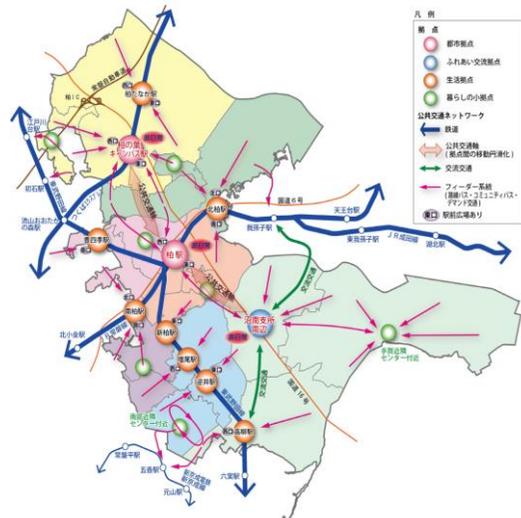
2018年度～2037年度
(短期 : 2018年度～2022年度)
(中長期: 2023年度～2037年度)

【基本方針】

次の5つの視点を踏まえ、取り組みを進めます。

- ①地域の状況に応じたバス路線の再編
- ②交通モード間の円滑化
- ③高齢者等に配慮した交通環境の構築
- ④中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存
- ⑤公共交通利用促進

目指すべき公共交通ネットワークイメージ



2

柏市地域公共交通網形成計画について

短期施策(2018年度~2022年度)一覧

検討の方向性	短期施策	施策内容
① 地域状況に応じたバス路線への再構築	A. 公共交通軸の強化	乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸(柏の葉キャンパス駅~柏駅~沼南庁舎周辺)の利便性・速達性の向上を図ります。
	B. 企業バス等との連携検討	交通弱者などの移動手段として、病院や商業施設などが独自で運行している送迎バスの活用検討を進めます。導入に際しては自動運転等の新たな技術に関しても検討を行います
	C. コミュニティ交通の運行形態見直し	現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。
	D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討	市内の公共交通空白不便地域において、地域の需要に対応した、公共施設や商業施設等へのアクセスを検討します。
② 交通モード間の円滑化を推進	E. 駅前広場の待合環境整備	駅前広場を中心にバス、タクシー乗場の利用環境改善のため上屋、ベンチの整備を図ります。
	F. ICTを活用した情報案内の実施	鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内のため、統合サイトやアプリの整備を行うほか、来訪者でもわかりやすいよう、交通結節点での情報案内の構築を図ります。
③ 高齢者等に配慮した交通環境の構築	G. 車両バリアフリー化の促進	バリアフリー化をいっそう促進するためにノンステップバス、ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入を促進します。
④ 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存	H. ショットガン方式のタクシープール導入	柏駅東口周辺道路の客待ちタクシー列を解消するため、ショットガン方式によるタクシープールの導入を図ります。
⑤ 公共交通利用促進	I. 公共交通の周知施策	柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してモビリティマネジメント教室を実施します。また、柏市バス路線マップの配布・作成を継続して実施します。

3

柏市地域公共交通網形成計画について

中長期施策(2023年度~2037年度)一覧

検討の方向性	中長期施策	施策内容
① 地域状況に応じたバス路線への再構築	a. 公共交通軸のバス路線再編	柏駅を起点に柏の葉キャンパス駅又は沼南庁舎周辺を経由して他の地域まで一連の区間として運行しているバス路線について、幹線交通(公共交通軸区間のみの運行)及びフィーダー(支線)交通区間に再編します。
	b. 交流交通軸の強化	我孫子駅、高柳駅とふれあい交流拠点を繋ぐ交流交通を確保します。
	c. フィーダー系統路線の見直し	拠点到繋がるフィーダー系統については、地域の状況に応じて、路線の見直しを実施します。
	d. バス速達性向上のための道路整備促進	柏駅~柏の葉キャンパス駅を結ぶ新たな都市計画道路を整備します。
	e. 新たな交通サービスの提供	将来のまちづくり等も踏まえた、魅力ある新交通システムの検討を行います。ICTの活用や自動運転等の新たな技術に関する検討も行います。
	f. 公共交通空白不便地域における公共交通の適切な見直し	コミュニティ交通に関して、地域の状況に応じて見直しを実施し、より適切な運行の検討を行います。公共交通空白不便地域をカバーする交通については、地域住民が主体となった協議会との協議・連携を踏まえ、確保を図ります。
	g. 周辺施設との連携検討	商業施設等と連携して、公共交通を利用した来訪者への支援策を実施します。
② 交通モード間の円滑化を推進	h. 鉄道駅との交通結節点の機能強化	柏駅東西口、北柏駅北口、高柳駅東口駅前広場整備により鉄道と他の公共交通との結節点機能を強化します。
	i. 賑わいのある拠点の整備・強化	沼南のふれあい交流拠点の核として公共交通軸及び交流交通の受皿となるターミナルを整備します。
	j. 地域施設と連携した快適な待合環境の確保	バス路線沿道の公共施設や商業施設と連携し、待合スペースの確保や接近情報の提供を行い、安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを進めます。
③ 高齢者等に配慮した交通環境の構築	k. サイクル&バスライドの促進	駐輪環境の整備により、サイクル&バスライドの促進を図ります。
	l. 高齢者等の移動支援	高齢者等が公共交通を使いやすいよう、民間企業とも連携して支援制度の構築を図ります。
④ 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存	m. 中心部への自動車流入抑制	駅周辺の細街路等に自動車ができるだけ流入しないよう、交通処理を進めます。上の交通処理とあわせて、フリンジパーキング施策による自動車の来訪者の流入規制を図ります。
⑤ 公共交通利用促進	n. 公共交通の周知施策	出前講座の実施など、協働で交通施策を推進するような意識付けを促す施策を実施します。

3

4

計画推進スケジュール

進行の管理

社会経済環境の変化等により、当初期待された事業による影響・効果が発現しない可能性も考えられます。

→2020年度より、新型コロナウイルスの影響を受け、公共交通の利用状況に変化が生じています。

施策実施段階で改めて影響、効果を確認(Check)したうえで、必要に応じて施策内容を見直す(Action)というように、より良い効果発現に向けて、PDCAサイクルによる不断の努力により、継続的な施策の見直し、実施が必要となると考えています。

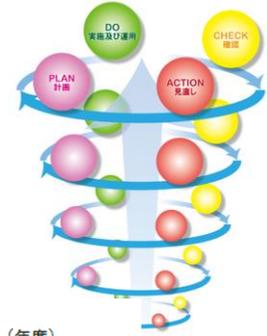


表 5-5 評価・検証による計画推進のイメージ

(年度)

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年～2037年	
策 定	5年間の取組				評 価	5年間の取組				評 価	評 価
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	評 価
			コロナ								必要に応じて計画の見直し
毎年、協議会 において確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※利用状況や経済性などの観点から進行の管理をしていきます。

5

短期施策A. 公共交通軸の強化

バス乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸（柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺）の利便性・速達性の向上を図ります。

実施主体：柏市、バス事業者

実施時期：2019～2022年度

表 4-1 対象路線

路線記号	経路	幹線区間
柏 22	柏駅～沼南庁舎～小野塚台	各路線の 柏駅～沼南庁 舎
柏 25	柏駅～沼南庁舎～布瀬	
柏 27	柏駅～沼南庁舎～手賀の丘公園	
柏 31	柏駅～沼南庁舎～セブンパークアリオ柏～沼南車庫	
柏 35	柏駅～沼南庁舎～工業団地中央～沼南車庫	柏駅～柏の葉 キャンパス駅
柏 09	柏の葉キャンパス駅東口～柏駅	
西柏 02	柏の葉キャンパス駅西口～柏駅	



図 4-3 公共交通軸

【進捗状況】

指標	策定時	H30年度	R1年度	R2年度
●市内のバス運行本数	3,503本	3,581本	3,590本	3,533本
●バス利用者数	18,000,000人	18,535,880人	19,769,838人	16,441,350人

※市内のバス運行本数は、東武バスイースト・阪東自動車・松戸新京成バス・ちばレインボーバスの市内を通る便の合計値。バス利用者数は、東武バスイースト、阪東自動車の市内を通る便の利用者数の合計値。

【今後の方向性】

・アフターコロナを見据えた利用者の状況を考慮しつつ、運行本数やパターンダイヤの検討等、公共交通軸の利便性・速達性向上に努めていく。

6

短期施策B.企業バス等との連携検討

交通弱者などの移動手段として、病院や商業施設などが独自で運行している送迎バスの活用検討を進めます。導入に際しては自動運転等の新たな技術についても検討を行います。

実施主体：柏市、商業施設事業者、病院、学校等
実施時期：2019～2022年度

【進捗状況】

・東京大学シャトルバスが自動運転の実証運行を継続

【今後の方向性】

・公共交通空白不便地域の対応策となる地域の移動手段の一つとして検討。
・商業施設バス・病院バス等の周知を検討。

■実証実験の自動運転バス



7

短期施策C.コミュニティ交通の運行形態見直し

現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。

実施主体：柏市、タクシー事業者
実施時期：2020～2022年度

【進捗状況】

指標	策定時	H30年度	R1年度	R2年度
ジャンボタクシー利用者数	41,135人	40,990人	39,497人	21,450人
カシワニクル利用者数	8,766人	9,881人	9,663人	8,444人

・R2は新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少
・カシワニクルは、令和2年11月1日から運行エリアを拡大

【今後の方向性】

・ジャンボタクシー
沼南コース：区域拡大地域のカシワニクルの利用状況を見ながら、再編を検討する。
周知や利用促進を図るため、愛称の募集や、車両デザインの変更等を検討する。

■かしわ乗合ジャンボタクシー・カシワニクル運行図



表 4-2 運行ルート変更案

	変更案
かしわ乗合ジャンボタクシー	常盤平駅まで延伸
かしわ乗合ジャンボタクシー (沼南コース)	一部区間カシワニクルへの変更を検討

8

短期施策D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討

市内の公共交通空白不便地域において、地域の需要に対応した、公共施設や商業施設等へのアクセスを検討します。

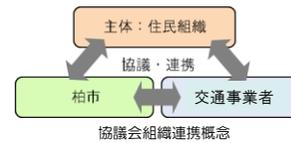
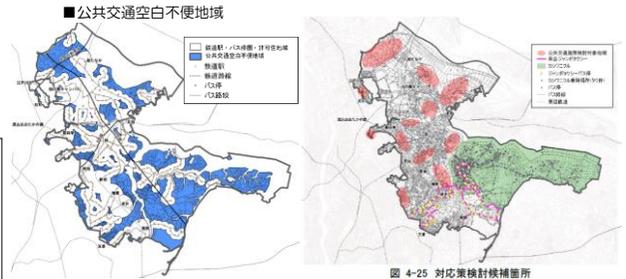
実施主体: 柏市, バス事業者, タクシー事業者
実施時期: 2019~2022年度

【進捗状況】

- ・各公共交通空白不便地域の状況を整理
- ・先行して4地域にアンケート調査実施したのち, 3町会にヒアリングを実施
- ・10月より, 利根町会において, 「買い物支援タクシー」の運行を開始予定

【今後の方向性】

- ・アンケート調査を基に地域へヒアリングしていく。
- ・地域が主体となった運行に向け, 運行導入マニュアルを作成する。



9

短期施策E. 駅前広場の待合環境整備

駅前広場を中心にバス、タクシー乗場の利用環境改善のため上屋、ベンチの整備を図ります。

実施主体: 柏市
実施時期: 2020年度~

【進捗状況】

- ・試験的に, 柏駅東口のバス乗り場付近にベンチを2基設置(令和2年9月24日~)
- ・国に対し, 補助金を要望中。

【今後の方向性】

- ・管理面に課題があるため, 柏駅のベンチの利用状況を見つつ, 国からの補助金も活用しながら, ベンチの設置を検討していく。
- ・上屋の設置についても, 駅前広場の整備に合わせて検討していく。

■試験的に柏駅東口にベンチを設置(2020.9.24)



■ベンチや上屋が設置されていない駅前広場

増尾駅西口

南柏駅東口



10

短期施策F. ICTを活用した情報案内の実施

鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内のため、統合サイトやアプリの整備を行うほか、来訪者でもわかりやすいよう、交通結節点での情報案内の構築を図ります。

実施主体: 柏市, 鉄道事業者, バス事業者
実施時期: 2020年度～

【進捗状況】

- ・ジャンボタクシーバスロケーションシステムを変更 (令和2年7月～)
- ・柏駅に設置している案内板の内容の更新 (令和3年4月～, 都市計画課と連携)

【今後の方向性】

- ・特に、来訪者数が多い柏駅については、来訪者でもわかりやすい情報案内の構築を検討していく。
- ・2018年に整備したGTFSデータを整理し、活用の可能性を検討していく。

■ジャンボタクシーバスロケーションシステム

停留所/乗降点	発車予定	到着予定
沼南駅西口乗降点	14:25	17:30
沼南駅前乗降点	14:26	17:31
沼南駅前西乗降点	14:28	17:33
沼南駅前東乗降点	14:29	17:34
沼南駅前南乗降点	14:30	17:35
沼南駅前北乗降点	14:32	17:37
沼南駅前南乗降点	14:33	17:38
沼南駅前北乗降点	14:35	17:40

■柏駅東口 バス乗り場案内



■柏駅西口3番バス停



■神戸市乗換検索



■名古屋市バスターミナルの案内板



11

短期施策G. 車両バリアフリー化の促進

バリアフリー化をいっそう促進するためにノンステップバス、ユニバーサルデザイン (UD) タクシーの導入を促進します。

実施主体: 柏市, バス事業者, タクシー事業者
実施時期: 2018年度～

【進捗状況】

指標	策定時	H30年度	R1年度	R2年度
ノンステップバス導入率	87.1%	87.2%	87.2%	88.2%
ユニバーサルデザインタクシー導入率	3.0%	7.2%	10.9%	16.0%

【今後の方向性】

- ・高齢者をはじめ、誰もが利用しやすい車両の導入を引き続き促進していく。

■ノンステップバス車両



■ユニバーサルデザインタクシー車両



12

短期施策H. ショットガン方式のタクシープール導入

柏駅東口周辺道路の客待ちタクシー列を解消するため、ショットガン方式によるタクシープールの導入を図ります。

実施主体: 柏市, タクシー事業者
実施時期: 2019～2022年度

【進捗状況】

・2016年度の立体駐車場(市営駐車場)を利用した, 社会実験を実施後, 未実施。

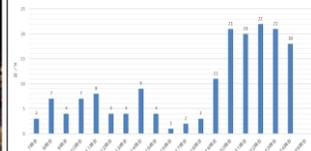
【今後の方向性】

・社会実験での課題を踏まえ, 市役所の駐車場等, 平面駐車場での社会実験を模索していく。
・柏駅東口の交通体系のあり方も含め, 全体的な視点で検討していく。

■タクシー待機列の様子



サンサン通りの客待ちタクシー滞留台数(平日)



■2016年度の社会実験



臨時プール入出経路図

13

短期施策I. 公共交通の周知施策

柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してモビリティマネジメント教室を実施します。また、柏市バス路線マップの配布・作成を継続して実施します。

実施主体: 柏市, 教育委員会, バス事業者
実施時期: 2018年度～

【進捗状況】

指標	策定時	H30年度	R1年度	R2年度
バスマップ配布	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部
バス乗り方教室(小学校2年生)	-	6校	6校	0校

【今後の方向性】

・柏市バス路線図マップの作成・配布を継続して実施する。
・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら, バス事業者と連携し, バス乗り方教室を再開を検討する。
・アフターコロナを見据えたMMの在り方を検討する。

■柏市バス路線図マップ2021



■バス乗り方教室の実施風景



14

【参考】柏市公共交通事業者感染症対策支援金について

○令和2年度に、市民が安心して利用できる移動手段の確保を目的に、公共交通事業者が実施する新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかる費用を支援。（計：1,675万円）

対象事業者	対象施設	支援金額	数量	計
路線バス (5社) ※かしわ乗合 ジャンボタクシー を含む	市内営業所	30万円/1箇所	2	60万円
	市内休憩所	3万円/1箇所	13	39万円
	市内路線バス車両	2万円/1台	185	370万円
法人タクシー (11社)	市内営業所	30万円/1箇所	11	330万円
	車両	2万円/1台	378	756万円
個人タクシー	一律5万円		24	120万円